

一般社団法人 日本観光文化協会
会長 小塩稻之

観光プランナーを目指すには

～2023年上期一斉試験 受験者募集中～

一般社団法人日本観光文化協会（東京都北区赤羽1-59-8：会長 小塩稻之）は、年2回6月と11月に全国一斉試験を実施し、「観光プランナー」、「観光士」、「観光コーディネーター」の3資格を認定しています。次回、2023年上期一斉試験は、2023年6月11日（日）に行われます。

【実施要領】

試験日：2023年6月11日（日）

試験時間：観光プランナー13:00～14:10（70分）

観光士／観光コーディネーター15:00～16:10（70分）

開催場所：オンライン

受験料：7,700円（税込）～

受付期間：2022年11月7日（月）～2023年5月28日（日）

詳細・お申込：<http://www.jtcc.jp/>

基礎から学ぶ
観光プランニング
改訂新版

編著 小塩 稲之／安田 亘宏

裾野の広い観光産業
観光プランナーが
知っておくべきこと

これからの観光は、ますます地域が一体となって取り組むべきものとなっています。そのため、「まちづくり、村おこし」から「街づくりの3ステップ」（地域ネットワークづくりと人材育成といった受け入れ態勢の充実化、地域資源の収集・発掘・整理、商品化システムの構築）、そしてエリア・アイデンティティ＝地域ブランドを確立していくことのできる観光プランナー・観光士・観光コーディネーターの役割が重要となります。観光学や観光マーケティング、観光ビジネス論などの知識習得のみに留まらない、よりプロデューサー的な視点が求められており、日本観光士会ではそういった内容が学べます。

◆観光プランナー ※観光士との併願受験可能

地域資源を活用した新しいツーリズムやまちづくり、地域活性化等の分野において、プランナーとして活躍する人材です。

◆観光士 ※観光プランナーとの併願受験可能

新たな「観光メニュー」＝「観光特産」×「テーマ観光」の開発が出来る人材のことです。地域の特徴ある観光資源の発掘と場おこし、地域観光メニューの商品・販売・販促戦略の企画推進、実行計画立案及びその実施（ロードマップ作成、具体的日時設定、予算管理）まで行います。

◆観光コーディネーター

観光コーディネーターとは、変化した価値観やライフスタイル、観光DXやMaaSなどにも対応した新しい「観光マーケティング」を提案し、その地域ブランドを確立していく人材のことです。

このリリースについてのお問い合わせは下記までお願いします。

MMP コミュニケーション 広報担当 北・香取

mmpc@jmmp.jp、03-5948-6581（代表）070-6455-3601（緊急：北携帯）

(一社)日本観光文化協会

設立：2001年11月 / 会長：小塩稻之 / 所在地：東京都北区赤羽1-59-8 ヒノビル / 電話：03-5948-6581

HP: <http://www.jtcc.jp/> 活動内容 / 日本で唯一、プロフェッショナルの「観光プランナー、観光士、観光コーディネーター」を養成し、資格を認定。また、「観光特産土(マイスター・2級・3級・4級)」の検定である全国観光特産土検定も実施。現在、当協会からの観光関連の資格認定者が全国に1500名在籍中。資格認定者は、国、地方公共団体、商工会、商工会議所などの公的事業や観光関連の民間企業を支援。今後も地域の資源活用のために、観光関連の企業情報、地域情報などを独自に入手、調査、分析。全国の生産者、観光産業や食、伝統工芸品など、地域産業の発展のために寄与する様々な活動を企画運営実施。

<別添資料>



編著 小塩 稲之

観光地域コーディネートの理論と実践

I 観光地域コーディネート

観光地域コーディネート、地域ブランド商品・サービスの現状把握

II 商品・サービス開発

新商品・サービス開発の基礎、新商品・サービス開発の実践、モノづくり
プラッシュアップ、流通チャネルのポイントと留意点

III 経営・マーケティング

商品・サービス評価と企業評価、マーケティングの基礎、コトづくり
場おこしのマーケティング、メディア・イベント戦略
マネジメントマーケティング論、市場調査的重要性

日本旅館コーディネータ協会出版局



編著 小塩 稲之

場起しから場興しまで 場おこし学

特産評価記入シート付

コトづくり モノづくり 場おこし

日本旅館コーディネータ協会出版局